

2023年7月25日

各位

一般社団法人日本デジタル空間経済連盟

「Web3時代に向けたメタバース等の利活用に関する研究会 報告書（案）」
意見提出のお知らせ

一般社団法人日本デジタル空間経済連盟（本社：東京都港区、代表理事：北尾吉孝、以下「当連盟」）は、2023年7月7日（金）「Web3時代に向けたメタバース等の利活用に関する研究会 報告書（案）」に係る意見を、総務省に提出しました。

[＞総務省 | 報道資料 | 「Web3時代に向けたメタバース等の利活用に関する研究会」報告書及び意見募集の結果の公表 \(soumu.go.jp\)](https://www.soumu.go.jp)

提出した意見では、総論のほか、特定の内容に対する8つの個別意見を述べています。

個別意見のうち、【意見2】P34① プライバシー情報の映り込みへの対処および、【意見5】P42 ウ.身体への影響(心理的・VR酔い等)について、「Web3時代に向けたメタバース等の利活用に関する研究会報告書」に追加されました。

当連盟では、メタバースの健全な発展に向けて、業界で一つの目安となり、各社のビジネスを後押しできるソフトローの策定・公表にむけて、会員企業、学識者、弁護士を中心に構成される検討委員会の立ち上げを進めています。今後関係当局、会員企業等と連携を図りながら議論を重ねていく予定です。

以上

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

日本デジタル空間経済連盟 事務局 jimukyoku@jdsef.or.jp